



みんなが希望をもてる社会へ

おかざき彩子の当選を祈ります

新社会党が政党要件を失って20年余、国会で発言の機会を失い、全国政党とは言いながらも、世論から無視され続け、残念でした。慎重な判断を得て、おかざき彩子候補を擁立したことは、素晴らしい展開です。最善を尽くして頑張りましょう。

現在の日本は末期の資本主義社会です。経済団体連合会の専制国家で、自民党がその実行部隊です。人口の90%を占める勤労階級の意見を抑制するために、三公社五現業を民営化して、ストライキ権の実行を困難にしました。労働組合は、労働三権の実力を弱められて、総評は同盟に吸収合併されて連合となりました。戦時中の産業報国会が、敗戦後のマッカーサーの開放戦略により、

企業別労働組合となり、平和闘争で大変質をした総評でしたから、実質に乏しく当然の経過でした。

総評にオンブにダッコであった社会党が三分裂したのも当然と言えます。敗戦後に戦前の職業口入屋が禁止され、労働監督署、大学、高校等にしか認められず、例外として弁護士、芸術家等にごく稀に認められていた職業幹旋がアメリカの圧力で、全産業、サービス業に認められました。更に現在では労働者派遣法が追加され、人口の半分近い労働者が、年収200万円以下となりました。選挙で社会を変えましょう。軍事費を増やさず、平和外交を強力に進めましょう。